

4 ^{たいしゅう だい}大正時代すごろく

8 ^{せいよう か}西洋化がすすんだ **くらし**

10 ^{べんり}おしゃれで便利！ ^{ようふうせい かつ}あこがれの洋風生活
^{わ よう}和と洋がくっついた ^{ぶん か じゅうたく}文化住宅

14 ^{したまち}下町にのこる ^{むかし}昔ながらのくらし
^{いえ いえ}家と家がつながっている ^{なが や}長屋

16 ^{ゆた}豊かで ^{じ ゆう}自由な **子どものくらし**
^{まな ぎょう じ}学びと行事でもりだくさん！ ^{たの}楽しみいっぱい ^{じんじょうしょうがっこう}の尋常小学校
^{せいよう ぶん か と い}西洋の文化を取り入れて ^{じ ゆう}自由な ^{せ かい}世界が ^{ひろ}広がった ^{あそ}遊び

20 ^{けいざい}経済が急発展！ ^{あた}新しい ^{し ごと}仕事の ^{とうじょう}登場
^{あた}モダンでおしゃれな ^{し ごと}新しい仕事
^{むかし}ずっと昔から ^{し ごと}つづく仕事

24 ^しもっと知りたい！ ^{たいしゅう じ だい}大正時代の ^{かね}お金

26 ^{えい が}映画、ラジオ、雑誌…… ^{ざっ し}みんな夢中！ ^{む ちゅう}大衆文化
^{きゅうじつ たの}休日を楽しんだ ^{あた}新しい ^{ご らく}娯楽
^{たいしゅう じょうほう つた}大衆に情報を伝えた ^{ざっ し}雑誌やラジオ
^{たいしゅう じ だい}大正時代の ^{げいじゆつ ぶん か}芸術・文化

32 ^しもっと知りたい！ ^{たいしゅう じ だい}大正時代の ^{ふ し ぎ}不思議！ ^{たいへん}大変！ ^{で き ごと}すごい！ 出来事

34 ^{いっばん か てい}一般家庭の ^{しょくたく}食卓へ ^{ようふう}洋風の ^た食べもの
^{ひ つ}ブームの火付け役 ^{やくさん だいようしょく}三大洋食！

36 ^{まち ようふう か}街の洋風化とともに ^{たんじょう}誕生した **乗りもの**
^{かんこう りょこう}観光や旅行のはばを ^{ひろ}広げた ^の乗りもの

38 ^{じょじょに}じょじょに ^{ようふう か}洋風化が進んだ **ファッション**
^{じ ゆう}自由なスタイルで ^{こ せい ひょうげん}個性を表現

40 ^しもっと知りたい！ ^{たいしゅう じ だい}大正時代の ^{たてもの}建物

42 ^{たいしゅう}大衆が ^{ちから}力をつけた！
^{たい しゅう}**大正デモクラシー**

44 ^{じ ゆう ひょうどう}自由と平等を求めた ^{もと}大衆
^{ぜんこく お}全国で起きた ^{たいしゅう}大正デモクラシー

48 ^{じ だい おお}時代を大きくかえた2つの ^{で き ごと}出来事
^{せん そう}**戦争と災害**

50 ^{に ほんけいざい}日本経済への ^{えいきょうだい}影響大！ ^{だい いち じ}第一次世界大戦と ^{せ かい たい せん}ロシア ^{かくめい}革命
^{だい いち じ}第一次世界大戦で ^{に ほんけいざい}日本経済が ^{はってん}発展！！
^{かくめい}ロシア革命で ^{に ほん}日本の ^{こめ}米が ^{ね あ}値上がり！？
^{だいさん じ}大惨事となった ^{かんとう だいしんさい}関東大震災
^{や の はら}焼け野原から ^{ふっこう}復興へ ^{ふっこう かつどう}復興活動

54 ^しもっと知りたい！ ^{たいしゅう じ だい}大正時代に ^お起きた ^{せ かい}世界の ^{で き ごと}出来事

55 さくいん

大正時代すごろく

明治時代のおわり

明治45年(1912)

イギリスの豪華客船
「タイタニック号」沈没

→33ページ

おおかづてんかくたんじょう
大阪通天閣誕生

→41ページ



森永製菓から箱
入りミルクキャラ
メル誕生

→35ページ

サラエボ事件が
起きる。第一次世
界大戦の引き金と
なる

→50ページ

大正時代のはじまり

大正元年(1912)

7月30日、明治天皇崩御。
元号が「大正」に変わる

日本初のタクシー会社誕生

→37ページ

東京で第一次護憲運動
が起こる

→44ページ



ジャパンアーカイブズ

大正2年(1913)

東京女子高等美髪学校
が開校。卒業すると美髪
師(美容師)の資格が得
られた

→21ページ



大正3年(1914)

東京上野公園で東京大正
博覧会が開催。文化住宅が
展示される

→10ページ



新宿歴史博物館

東京・日本橋に三越呉服店
が新装開店。日本初のエスカ
レーター誕生

→51ページ



ジャパンアーカイブズ



ジャパンアーカイブズ

大日本雄弁会(現・講談
社)から「少年倶楽部」創刊

→19ページ

大正時代は1912年から1926年までの15年間しかありませんでした。
その短い間にどんなことがあったのか、年代順に見てみましょう。

富山県の主婦40人ほどが海
岸に集結(越中女一揆)。米騒
動がはじまる

→51ページ



国立国会図書館所蔵

森永からミルクチョコ
レート誕生

→35ページ



第一次世界大戦
の終結

→54ページ

子ども向け雑誌
「赤い鳥」発売

→19ページ



大正7年(1918)

スペイン風邪が流行

→33ページ



大正5年(1916)

芝浦製作所(現・東芝)
から電気扇(扇風機)発売

→13ページ



大正4年(1915)

芝浦製作所(現・東芝)
から日本初の電気アイロン、
電気ストーブ誕生

→13ページ



「帝都の大玄関東京駅の壮観」
東京都立中央図書館特別文庫室所蔵

東京丸の内に、赤レン
ガ造りの東京駅が開業

→40ページ

早川金属工業
(現・シャープ)
から日本初の国産
シャープペン誕生

→17ページ

下町にのこる 昔ながらの暮らし

このころの東京の下町は、昔ながらの生活様式がのこり、商人や職人がくらす地域でした。人々は、長屋とよばれる集合住宅で生活をしていました。家ごとに個別のトイレや水道はなく、共同のトイレ、井戸を使っていました。しだいに2階建ての長屋ができ、家ごとにトイレができるなど、便利になっていきました。

家と家がつながっている 長屋

長屋は、壁でしきられた家が横につながった建物です。路地にそって建てられていました。ひとつひとつの家は小さく、外と同じ高さで地面のままの土間と、土間より高くつくられ、畳がしかれた部屋にわかれていました。



食べるのも寝るのも同じ 畳の部屋

畳の部屋では、昼間はおりたたみ式のちゃぶ台を置きごはんを食べ、夜になるとちゃぶ台をたたんでふとんをしいて寝ていました。

しゃがんで作業する 台所

台所は、土間と板がはっている板の間にあり、土間には、かまどや水がめが置いてあり、しゃがんだ姿勢で調理をしていました。

水がめ

水をためておく道具。水道は通っていなかったため、井戸から水をくんで水がめにためていた。



かまど

まきを燃やして煮炊きする道具。ガスや電気が通るまではかまどや火鉢で調理をしていた。



木でできた トイレ

木製のトイレは、四角くあなをあいた床下に糞尿がたまっていくものでした。水洗ではなかったため、ふたはふたをしていました。



主婦たちがおしゃべりを楽しんだ 井戸

井戸

水道が各家庭にひかれるまで、水は井戸からくんでいました。井戸の周りには、水仕事をすする主婦たちが集まり、おしゃべりを楽しんでいました。



クレジットのない写真：すべて台東区立町風俗資料館

カラスのちょっとかしくなる話 生活必需品だった炭

ガスや電気、石油がつかわれるようになるまで、炭は生活に欠かせないものだった。調理をするときや冬の寒いとき、炭を燃やして使っていたんだ。炭をつくる人や、炭を売る炭屋も多くいたよ。



一般社団法人
岩手県木炭協会



昔から炭の生産が盛んな岩手県。大正元年には「木炭生産量日本一」になっている。